

きゆうじよ 救助ロープ きほんけっさく 基本結索 (結び方) むす かた

きゆうじよ 救助ロープは、全国の消防署で使われています。きほんけっさく 基本結索と呼ばれる、基本的な結び方は、全国の消防職員が知っています。ここに書かれている結び方と、皆さんにお渡しした DVD を見て、実際にこづな (短い救助ロープ) で結んでみましょう！

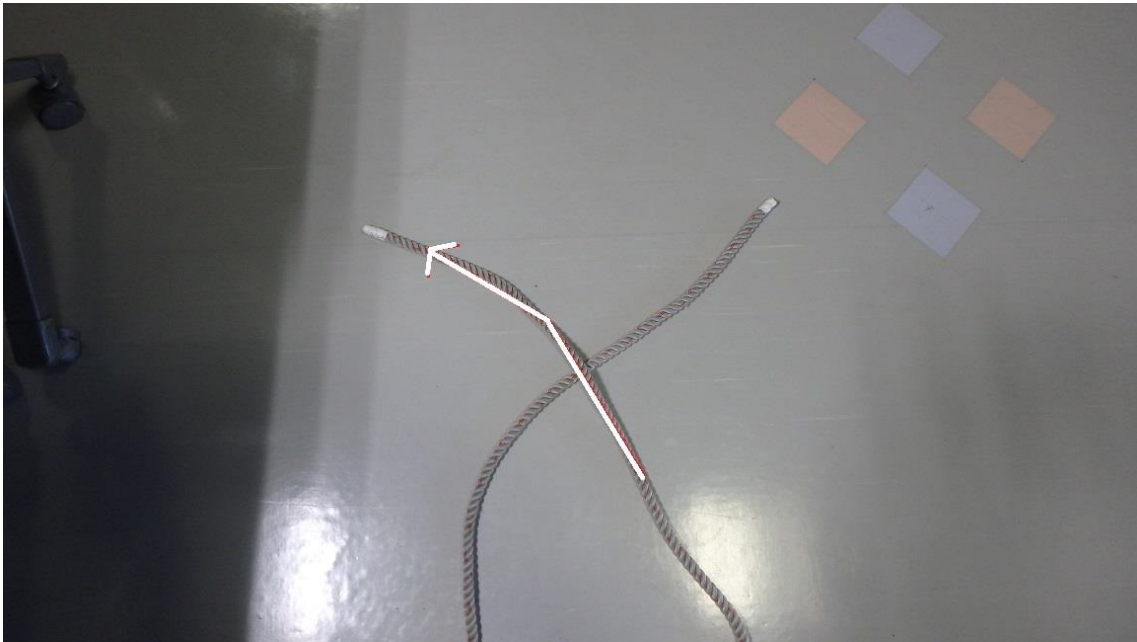
本結び

本結びは、数千年前から人々が使っていた結び方です。古代ローマ時代には、英雄ヘラクレスにちなんで、ヘラクレス結びという名前で、こしひも (腰紐) に使われていたそうです。長い歴史がある結び方です。

- 1 使い方
同じ太さ、同じ種類のロープを結ぶ。
- 2 種類
結合
- 3 結び方



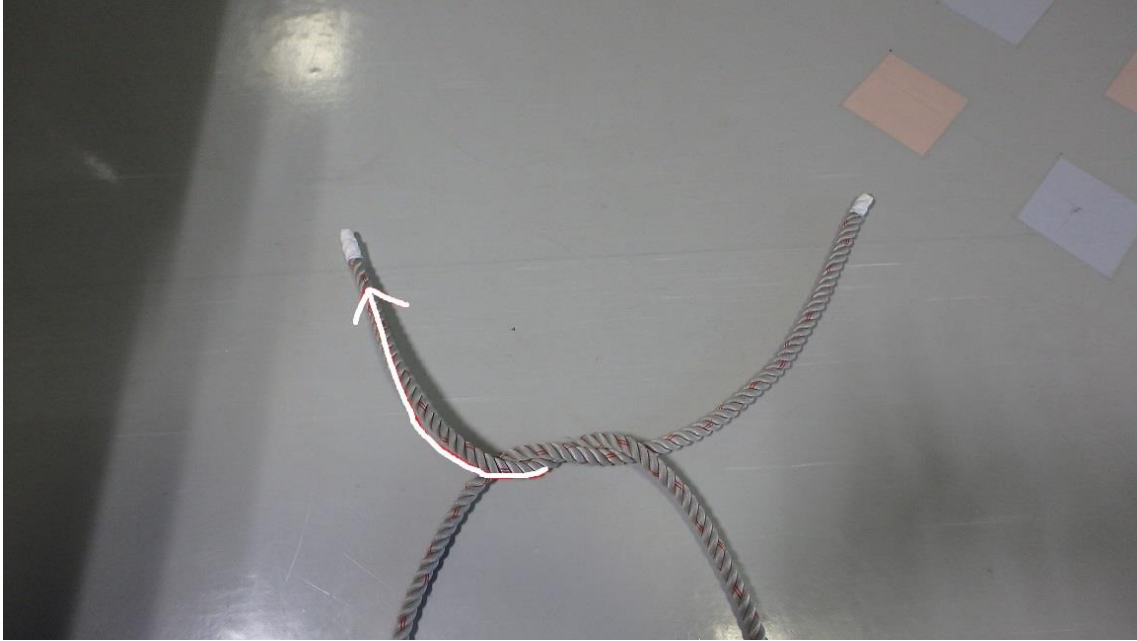
ロープを半分に折り、テープの巻かれたロープの端 (たんまつ 端末) を合わせます。



右側のロープが上を通るようにします。



右側のロープを下に通します。



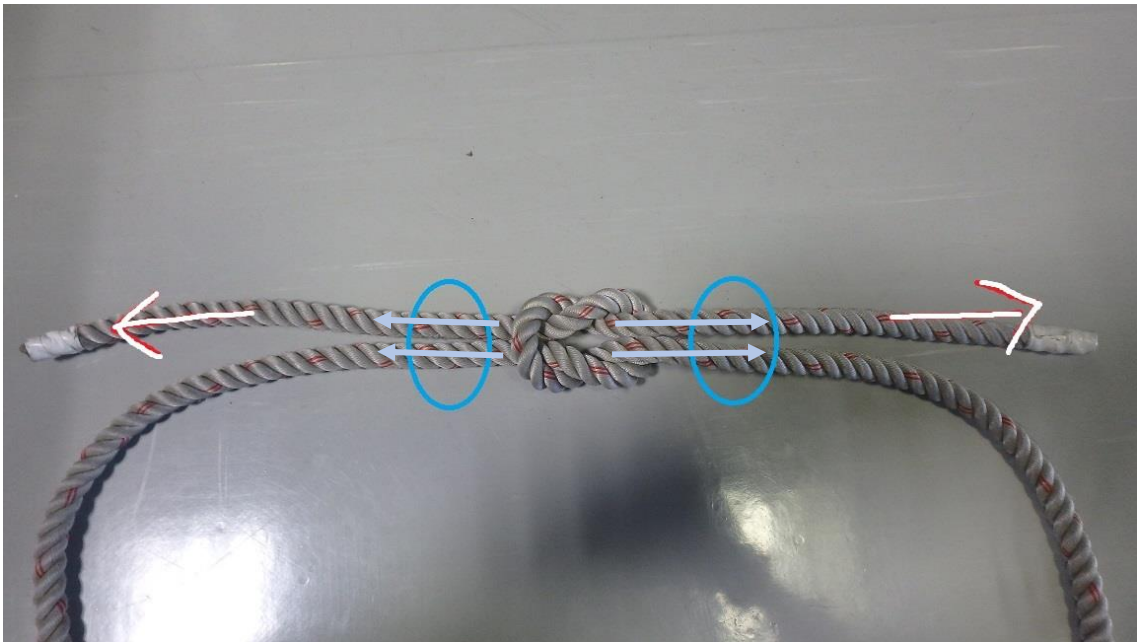
上にもってきます。



また、右側のロープを上に通します。右からきているロープがずっと上です！



輪っかの間を通します。



両方のロープの端をひっぱります。輪っかからみて、右側のロープ、左側のロープは同じように出てきています。これがバラバラですと、本結びにはなりません。

もやい結び

もやい結びは、古くから海で航海をしていた船乗りが使っていた結び方です。

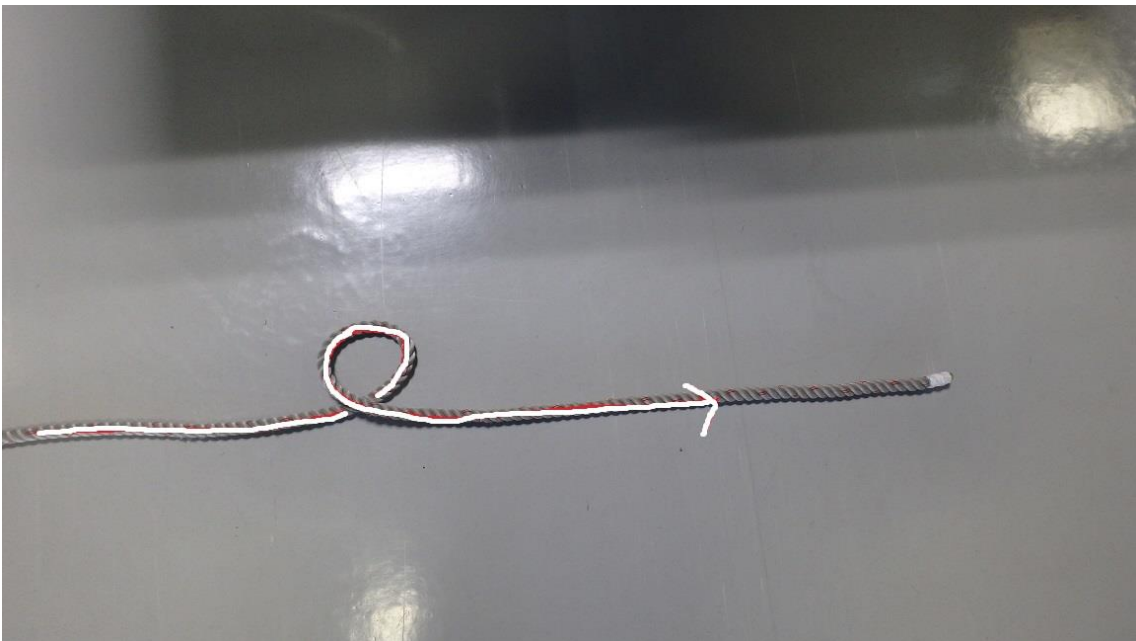
1 使い方

ロープの端に輪を作る。輪に重さがかかっても、結び目は動かず、大きさも変わらない。大きな力にも耐えられる。そして簡単に解くことができる。

2 種類

結着

3 結び方



長さを決め (←動画を見てね)、輪っかを作ります。下から上にロープが出るようにしましょう。





輪っかの中にロープの端を通します。



ロープの端を、下に通します。



ロープの端を、もう一度輪っかの中に通します。



通した輪っかを締め付けます。そうすると、一つだけ輪っかが出来ます。
この輪っかの大きさは、手のこぶしと同じくらいになります。



ロープの端を上から通して、結びます（半結び）。



矢印の方向に引っ張ります。これで輪っかに重さがかかっても、輪の大きさが変わらず、ほどけなくなります。

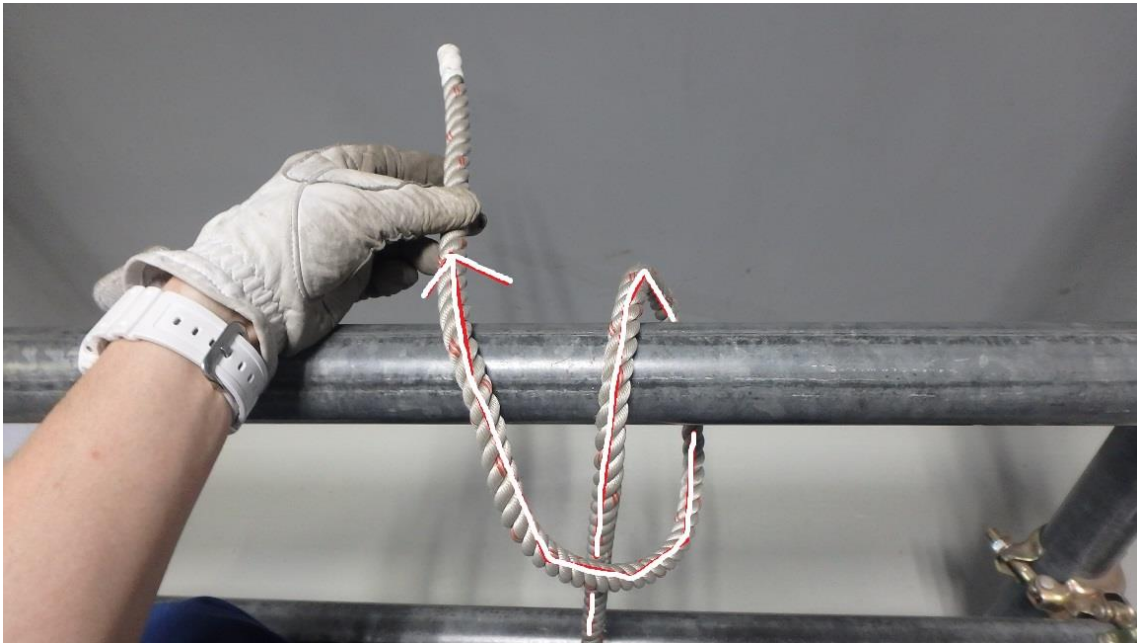
巻き結び

巻き結びは、ロープを柱などに結び付けるもので、古くから船乗りが使っていた結び方です。

- 1 使い方
ロープを頑丈な物に結び付ける。
- 2 種類
結着
- 3 結び方



柱や、棒があれば、その上にロープを通します。



右側からロープを引き出します。



ロープを写真のとおりに通します。



矢印の方向にロープを引き、しっかりと結びます。



下側から来ているロープを持ったまま、端のロープを下にもっていきます。
これによって、ロープが食い込み、ゆるみにくくなります。



ロープがゆるまないように、半結びをします。



しっかりとひっばります。

プルージック結び

プルージック結びは、オーストラリア人登山家のカール・プルージック博士が考えた結び方です。

1 使い方

ロープを頑丈な場所に結び付ける。力が加わると、結び目が移動しなくなる。人が高いところから降りたりする時に、補助的なものとして使います。

2 種類

結着

3 結び方



ロープを半分に折り、端ではない輪になっている部分を持ちます。





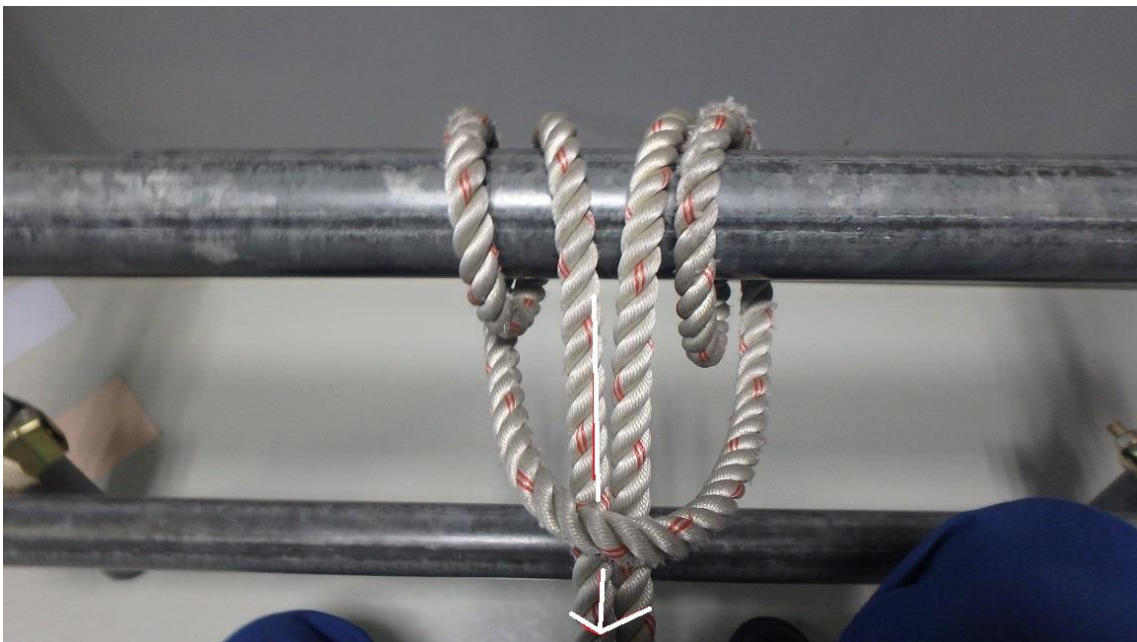
輪を柱や棒の上に通します。



輪を通して引き出します。



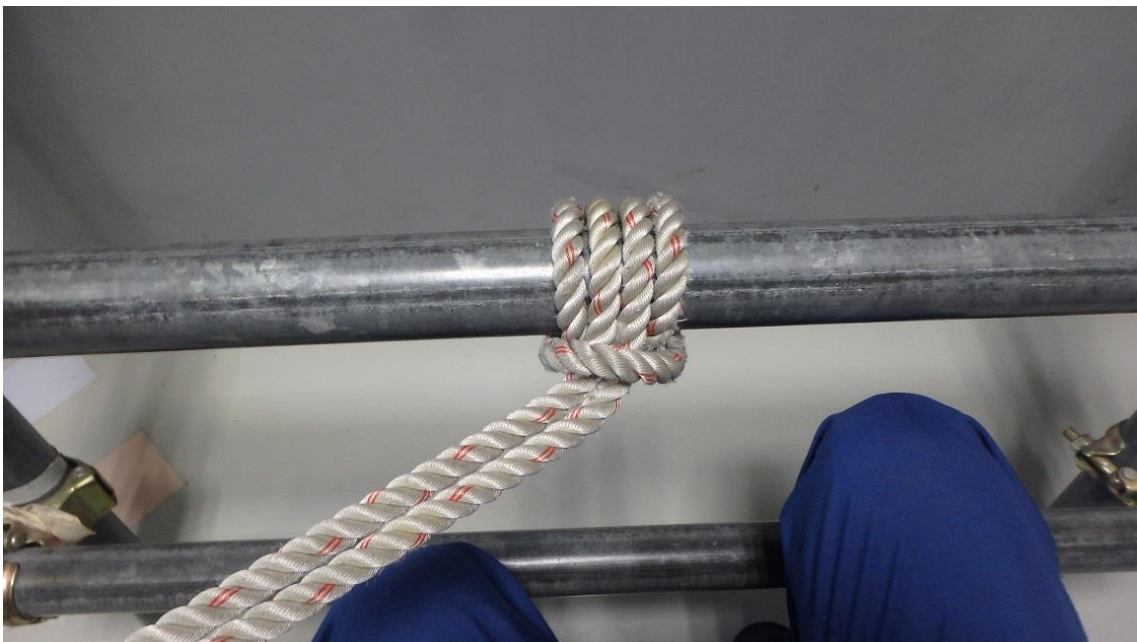
輪の中にロープの端を通します。



更にロープの端を、輪の中に通します。
※この時、1回目に通したロープの間にロープを通すようにします。



しっかりと締め付けます。



横にひっぱる力が加わると、ロープが柱から動かなくなります。

動画を見ながら、ぜひチャレンジしてみてください！こまかい作り方は、活動する日に一緒にやるので、安心して下さいね！